

主日礼拝

2026年05月10日
午前10時30分

前奏

参集 (報告・紹介・予定)

招詞

「神よ、守ってください
 あなたを避けどころとするわたしを。
 主に申します。
 『あなたはわたしの主。
 あなたのほかにわたしの幸いはありません。』」
 (詩編 16:1~2)

頌栄 26「グロリア」

グロリア グロリア グロリア ちちとみ子に
 グロリア グロリア グロリア せいなる霊に

リタニー 「創立記念日のリタニー」

司式者：私たちは、声をそろえて
 会衆：神さまを、賛美しよう
 司式者：神さまは、イエスさまをくださった
 会衆：神さまに、感謝しよう
 司式者：神さまは、広島流川教会を、つくって
 くださった
 会衆：この日を、みんなで喜ぼう
 司式者：5月8日は、広島流川教会が生まれた日
 会衆：神さま、今日まで守ってください、
 ありがとうございます。
 司式者：昔も今も、多くの人が広島流川教会に
 つながっています。
 会衆：私たちは、祈ります
 一同：神さまの喜ばれる広島流川教会にして
 ください アーメン

賛美 5「わたしたちは神の民」

詞：詩編100 答唱
 曲：新垣王敏, 1938-

わたしたちは - かみのたみ -、そ
 のまきばの - むれ -。

1 全地は喜び神に向かい、敬呼の歌をささげつつ、み前に進み、かみにつかえよ。
 2 神こそすべてのもの主、わたしたちをつくられたかみ。
 3 感謝に満ちて門をめぐり、賛美を歌って中庭にはいる、神に祭をあげてみ名をたたえよう。
 4 神はあわれみふかく、そのいつくしみは限りなく、そのまことは世々に およみ

祈祷

献金

主の祈り

天にまします我らの父よ、
 ねがわくは み名をあがめさせたまえ。
 み国を来らせたまえ。
 みこころの天になるごとく
 地にもなさせたまえ。
 我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
 我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、
 我らの罪をもゆるしたまえ。
 我らをこころみにあわせず、
 悪より救い出したまえ。
 国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの
 なればなり。
 アーメン。

賛美 32「キリエ・エレイソン」

キリエ・エレイソン、キリエ・エレイソン、
 主よ、あわれみ。主よ、あわれみ。

キリエ・エレイソン。
 主よ、あわれみ。

キリエ・エレイソン キリエ・エレイソン キリエ・エレイソン
 主よ、あわれみを 主よ、あわれみを 主よ、あわれみを

聖書 ヨハネによる福音書 16:12~24

新約(新共同訳)P200~P201

12 言っておきたいことは、まだたくさんあるが、今、あなたがたには理解できない。13 しかし、その方、すなわち、真理の霊が来ると、あなたがたを導いて真理をことごとく悟らせる。その方は、自分から語るのではなく、聞いたことを語り、また、これから起こることをあなたがたに告げるからである。14 その方はわたしに栄光を与える。わたしのものを受けて、あなたがたに告げるからである。15 父が持っておられるものはすべて、わたしのものである。だから、わたしは、『その方がわたしのものを受けて、あなたがたに告げる』と言ったのである。」16 「しばらくすると、あなたがたはもうわたしを見なくなるが、またしばらくすると、わたしを見るようになる。」17 そこで、弟子たちのある者は互いに言った。「『しばらくすると、あなたがたはわたしを見なくなるが、またしばらくすると、わたしを見るようになる』とか、『父のもとに行く』とか言っておられるのは、何のことだろう。」18 また、言った。「『しばらくすると』と言っておられるのは、何のことだろう。何を話しておられるのか分からない。」19 イエスは、彼らが尋ねたがっているのを知って言われた。「『しばらくすると、あなたがたはわたしを見なくなるが、またしばらくすると、わたしを見るようになる』と、わたしが言ったことについて、論じ合っているのか。20 はっきり言っておく。あなたがたは泣いて悲嘆に暮れるが、世は喜ぶ。あなたがたは悲しむが、その悲しみは喜びに変わる。21 女は子供を産むとき、苦しむものだ。自分の時が来たからである。しかし、子供が生まれると、一人の人間が世に生まれ出た喜びのために、もはやその苦痛を思い出さない。22 ところで、今はあなたがたも、悲しんでいる。しかし、わたしは再びあなたがたと会い、あなたがたは心から喜ぶことになる。その喜びをあなたがたから奪い去る者はいない。23 その日には、あなたがたはもはや、わたしに何も尋ねない。はっきり言っておく。あなたがたがわたしの名によって何かを父に願うならば、父はお与えになる。24 今までは、あなたがたはわたしの名によっては何も願わなかった。願いなさい。そうすれば与えられ、あなたがたは喜びで満たされる。」

賛美 510 「主よ、終わりまで」

O Jesus, I have promised 曲: John E. Bode, 1816-1874 ANGEL'S STORY 曲: Arthur H. Mann, 1850-1929

1 主よ、おわりのさまでしもべとして
 2 ここの世のわが目をまじわして
 3 しずかにきこえよ、みこしよ
 4 主は、はかばかしく、おのれをこたへて、

あなうたにつかえし、たがいます。
 づかたりくのこだえし、たがいます。
 おわりの日、まじわ、たがいます。

世のき、た、た、か、い、は、は、う、げ、し、く、て、も、
 ここの世の、た、た、か、い、は、は、う、げ、し、く、て、も、
 わたしは、た、た、か、い、は、は、う、げ、し、く、て、も、

主が、み、か、た、な、ら、お、そ、れ、は、な、し、い、
 おま、も、り、く、だ、ら、お、そ、れ、は、な、し、い、
 主よ、お、わ、り、ま、で、し、も、べ、と、し、て、

- 主よ、終わりまで しもべとして
あなたに任せたいです。
世のたたかいは はげしくても、
主が味方なら 恐れはない。
- この世のさかえ 目を惑わし、
誘惑の聲 耳に満ちて、
敵は外にも 内にもある。
お守りください、主よ、私を。
- 静かにきこえよ、みこしよ
お語りください、主よ、みことば。
心のあらし 吹きあれても、
聞かせてください、主よ、み声を。
- 主よ約束を かく守り、
終わりの日まで みちがかれる。
私はここに 誓いを立て、
主よ、終わりまで したいです。

説教 「苦しみは喜びへ」

賛美 516 「主の招く声が」

How clear is our vocation, Lord 曲: Fred Pratt Green, 1903-2000 REPTON 曲: C. Hubert H. Parry, 1848-1918

1 主のまねくこのえがきこえらてもなく、
 2 主のまねくこのえがきこえらてもなく、
 3 みこしよのまねくこのえがきこえらてもなく、
 4 あたらしいかたがきこえらてもなく、
 5 主のまねくこのえがきこえらてもなく。

目ごと世にやしない、あ、た、ら、し、く、生、か、す、
 ここの世にやしない、あ、た、ら、し、く、生、か、す、
 十、字、架、を、お、わ、れ、な、い、あ、た、ら、し、く、生、か、す、
 ここの世にやしない、あ、た、ら、し、く、生、か、す、

わ、た、し、た、ち、を、い、ま、ね、く、こ、え、が、
 わ、た、し、た、ち、を、い、ま、ね、く、こ、え、が、
 わ、た、し、た、ち、を、い、ま、ね、く、こ、え、が、
 わ、た、し、た、ち、を、い、ま、ね、く、こ、え、が、

- 主の招く声が 聞こえてくる。
目ごとにやしない、新しく生かす、
私たちが 招く声が。
- 呼ばれるこの身は 力も無く、
この世の重荷と わずらいの中で
くびきを負い、あえいでいる。
- み声にこたえた 聖徒たちの
歩みに従い、私たちがまた
主の名を身に 帯びて進もう。
- 新しい課題も 日々わがも
十字架を負われた 主が与えられた
つとめとして 励んでゆこう。
- 主の招く声が 聞こえてくる。
こんなに小さな 私たちさえも
みわざのため 用いられる。

派遣

司式者 主は言われます。
「わたしは誰を遣わすべきか。」

会衆 わたしがここにおります。
わたしを遣わして下さい。

祝祷

アーメン



後奏

司 式 喜多村 文子
説 教 向井 希夫牧師
奏 楽 高橋 孝子